

# 令和5年度 当初予算案等の概要 消防局

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 令和5年度 消防局重要施策

安全・安心で良好な生活環境が確保されている「災害に強いまちづくり」を目指して



## 消防局の施策3本柱

- 1 災害防ぎよ活動体制の充実
- 2 救急体制の充実
- 3 防火・防災体制の充実

1 災害防ぎよ活動体制の充実	令和5年度予算 (単位：万円)
<b>(1) 消防基盤・活動資機材の整備</b>	373,198
○ 消防指令管制情報システム中間更新 (筑紫野太宰府消防組合消防本部の加入)	Pickup1
○ 消防・救急デジタル無線更新整備 (基本設計)	
○ 消防ヘリコプターの更新整備 (資格取得)	Pickup2
<b>(2) 消防団施設等の整備</b>	22,385
<b>(3) 教育訓練・人材育成の充実</b>	4,700
○ 消防学校機能強化検討	Pickup3
2 救急体制の充実	令和5年度予算 (単位：万円)
<b>(1) 救急需要への対応、救急高度化の推進</b>	44,590
○ 東消防署に救急隊を増隊 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">新規</span>	Pickup4
(高規格救急車、資機材、庁舎改修等)	
○ FC救急車の実証 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">新規</span>	Pickup5
<b>(2) 応急手当、救急車適正利用、予防救急の普及啓発推進</b>	495
○ 「救急車適正利用」、「#7119」の市民への広報、病気やけがの予防策を市民に啓発する「予防救急」の推進 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡充</span>	Pickup6
3 防火・防災体制の充実	令和5年度予算 (単位：万円)
<b>(1) 火災予防対策の推進</b>	1,761
○ 高齢者に対する防火啓発 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡充</span>	Pickup7
○ 申請や届出などの手続きのオンライン化 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡充</span>	Pickup8
<b>(2) 災害に強い地域づくり</b>	5,495
<b>(3) 市民に身近な消防づくり</b>	7,199

# 令和5年度の主な重要事業

重要施策 1 災害防ぎよ活動体制の充実



## 福岡都市圏消防通信指令業務共同運用 関連事業

(予算：265,644万円)

Pickup1

- 消防指令管制情報システム中間更新
- 消防・救急デジタル無線更新整備（基本設計）



- ◆ 福岡都市圏消防共同指令センターに、令和5年11月から新たに筑紫野太宰府消防組合消防本部が加入します。
- ◆ 管轄区域が拡大することから、**指令センター職員を3名増員し、通信指令体制を強化**します。
- ◆ 消防指令管制情報システムの中間更新や消防・救急デジタル無線の更新整備に取り組むなど、引き続き指令センターの円滑な運用に努めます。



福岡都市圏消防共同指令センター

## Pickup2 消防ヘリコプターの更新整備

(予算：6,336万円)

- ◆ 1号機「ゆりかもめ」を新たな機種に更新し、令和5年10月から運用予定です。
- ◆ **運航体制を更に強化するため、操縦士1名を増員**するとともに、新型機に対応した操縦士及び整備士の資格取得を行います。



現「ゆりかもめ」



※イメージ

新「ゆりかもめ」

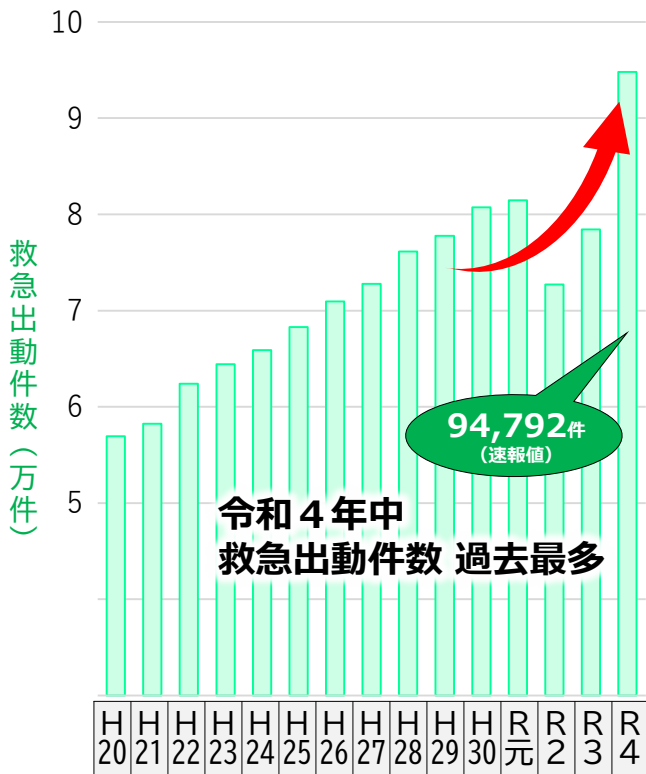
## Pickup3 消防学校機能強化検討

(予算：921万円)

- ◆ 消防職員及び消防団員並びに市民の教育訓練施設として、**実践的かつ効果的な訓練施設等の充実に向けた計画を策定**します。



◆東消防署に**救急隊を1隊増隊**すること等により、救急体制の強化を図ります。



令和4年中  
救急出動件数 過去最多

94,792件  
(速報値)

救急出動件数 (推移)

令和4年中救急出動件数：94,792件 (速報値)  
前年比：16,368件増 (20.9%増)  
過去最多の出動件数、過去最大の増加幅



令和4年度

32 隊

令和5年度

33 隊

(係員8名増員)



◆トヨタ自動車株式会社との連携協定に基づき、FC救急車の実証を行います。

FC救急車とは??

空気中の酸素と燃料の水素を「燃料電池」に取り込んで電気を作り、その電気でモーターを回して走る救急車です。

全国消防初!



現行のトヨタ製ガソリン救急車

Pickup6

# 「救急車適正利用」、「#7119」の市民への広報、 「予防救急」の推進

(予算：100万円)

## ■ 救急車の適正利用、救急医療電話相談ダイヤル「#7119」 の広報を推進

本当に必要な方の元にいち早く駆け付けるため、救急車の適正利用についての理解が深まるよう、市民に対して、広報活動を行います。



(広報用パンフレット・チラシ)

## ■ 予防救急の広報を強化 拡充

高齢者を対象に予防救急に関する効果的な広報活動を行います。

### 予防救急とは？

事故の原因や注意点、予防のポイントを知り、救急搬送につながる病気やけがを未然に防ぐ取り組みです。

## 重要施策 3 防火・防災体制の充実

## Pickup7 高齢者に対する防火啓発

(予算：90万円)

## ■ 防火に関する広報を強化 拡充

高齢者を対象に防火に関する効果的な広報活動を行います。

## Pickup8 申請や届出などの手続きのオンライン化

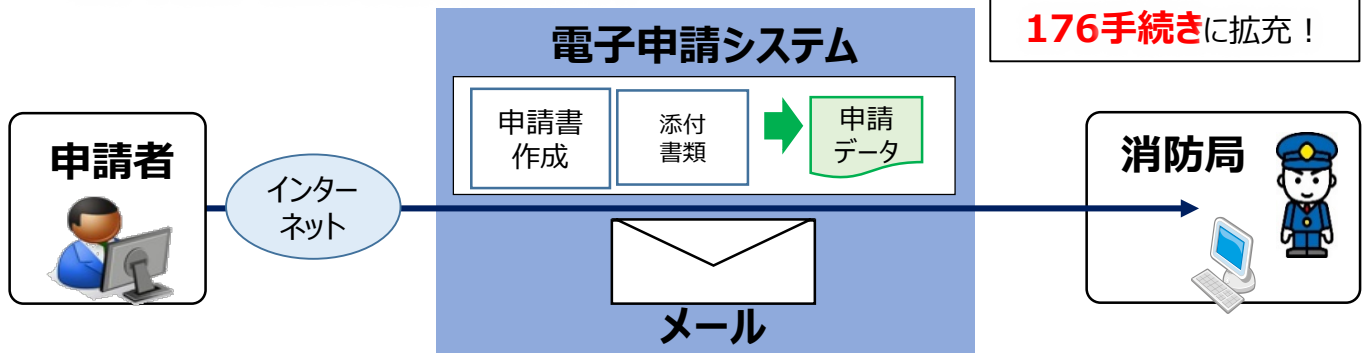
## ■ インターネットを利用した電子申請を拡充 拡充

火災予防分野における申請者の利便性向上のため、電子申請が可能な申請を拡充します。

現在、290手続きのうち  
120手続きをオンライン化



**176手続き**に拡充！



### 窓口申請はできなくなるの？

消防署での申請は従来どおり可能です。電子申請、窓口申請どちらでも申請していただくことができます。